

# ★申請方法

## ステップ ① 申請したいと思ったら・・・

まずは、先生や事務職員さんに相談してみましょう。このプロジェクトは、大学等の教職員が団体の代表者である必要があります。

アドバイス



- ◇ 第2期岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略を読むことをお勧めします。
- ◇ 事業実施の背景や地域のニーズ等について、できる限り、地域の方や関係する行政機関等の意見を聞くヒントがあるかもしれません。
- ◇ 自分がやりたいことをするのは大事なことです。地域の方の思いも反映されるような取り組みとなるように考えてみてください。

## ステップ ② 申請書を書いてみよう！

このプロジェクトに係る要綱及び申請書等は、右のQRコードからダウンロードできます。(検索:学生イノベーションチャレンジ)



## ステップ ③ 困ったら相談しよう！

募集期間中は、随時、相談を受け付けます。**活動内容やコラボする相手など**、お困りの点について、ご相談ください。

なお、相談にあたっては、下記問い合わせ先まで**メール**でご連絡ください。

## ステップ ④ 申請しよう！

申請から実績報告までのスケジュール(期間内に申請書類を提出してください。)

申請	募集期間	令和5年4月28日(金)～5月31日(水) ※郵送の場合は同日必着、持参の場合は午後5時必着
	提出方法	下記問い合わせ先へ <b>郵送又は持参</b> にて提出 申請に必要な提出物は5部(参考資料がある場合はそれらも5部) ※メール、FAX等での提出は受付できません。
活動	補助金交付決定	6月上旬から随時審査して決定
	活動期間	補助金決定(6月上旬)～活動報告会(2月中旬)予定 (SNS等を活用した情報発信にも積極的に取り組んでください)
報告	報告会	中間報告:10月下旬 活動報告会:翌年2月中旬 ※活動報告会では、優良事例の表彰も併せて行います。
	実績報告書の提出	翌年2月末

### 【問い合わせ先】

岡山市政策局政策企画課(学生イノベーションチャレンジ推進事業担当)  
TEL 086-803-1043/FAX 086-803-1732(※土・日曜、祝日を除く 8:30～17:15)  
Mail:seisakukikaku@city.okayama.lg.jp

## 学生の皆さん

# あなたの力が地域を変える！

キャリアアップに役立つ絶好の機会です



<本事業への寄附企業>  
 ミナミホールディングス(株) メタコート工業(株) (株)RUNWAYS  
 長瀬産業(株) (株)東光 住友生命保険相互会社 他  
 ※国の地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)を通じて、令和4年度に寄附をいただきました。

## ★「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」とは

学生の皆さんは地域に活力をもたらす大切な存在です。  
市では地域づくりの次世代を担う人材が地域に住み続け、活躍するまちづくりを進めています。その1つとして、現在大学生等が企業や地域、NPO等とコラボレーションして、若者ならではの柔軟なアイデアの提案や実践によって地域課題を解決する活動をサポートしています。大学等で学んだスキルを活用して小規模ビジネスの実現につながる活動に対し、補助金を交付して支援する「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」を実施します。ぜひ、チャレンジしてみませんか。

## ★対象団体・活動コース

<対象団体> 岡山市内の大学・短期大学・専門学校及び岡山市と包括的な連携協力に関する協定を締結している岡山市外の大学・短期大学の、教職員を代表者とした学生3名以上で構成されている団体・グループ

活動コース	ソーシャルビジネスチャレンジ	スモールビジネスチャレンジ
概要	行政機関、企業、NPO及び地域団体等とコラボ(協働)し、岡山市内及び岡山市外(※1)における地域課題の解決や地域活性化を図る事業	収入計画を策定した上で、新たな商品やサービス等の開発、販売等の小規模ビジネスの実現を目指す事業

- (※1) 岡山市以外での活動について
- ・岡山市内での活動だけでなく、別紙「岡山市以外(岡山連携中枢都市圏)での地域課題一覧」に掲載している活動についても対象とします。
  - ・岡山連携中枢都市圏とは、岡山市と社会的、経済的に一体性を有する近隣市町村(8市5町)とで形成する都市圏のことであり、本事業の対象は、「備前市」「真庭市」「久米南町」「吉備中央町」です。

## ★先輩のイノベーションチャレンジの例



- ① 特産を生かしたパンの販売を通して岡山市の魅力を再発見と地域を盛り上げる活動  
(ノートルダム清心女子大学)



- ② 造山古墳のボランティアガイドとして地域を活性化  
(専門学校ピーマックス)



- ③ グランドゴルフを通して地域の方と交流活動  
(岡山理科大学)

第1回RHMグラウンドゴルフ交流大会

## ★補助金額・採択件数

上限 **30万円**(補助率 10/10以内)

採択件数 **20件**程度



廃棄予定デニムを活用した知育玩具の開発Jean's

## ★補助金の対象経費

補助金は活動後に大学、短期大学、専門学校に交付します。

## ★審査基準

下記の審査基準に基づいて申請書類を採点し、審査を行います。

審査項目	審査基準	ソーシャル	スモール
活動のニーズ	活動の目的が、対象地域にとって必要性・重要性の高いものか。	必須	必須
効果	目的に対する効果が期待できる活動内容となっているか。	必須	必須
協働の深さ	学生と地域の双方が主体的に活動に関わることが出来るか。協働を通じた相乗効果が発揮されているか。	必須	加点
モデル性・将来性	学生と地域の連携モデルとして、他地域へ参考となる活動か。活動内容の深化や拡大、発展などが期待できるか。	必須	必須
アイデア・チャレンジ性	独創性やチャレンジ性のある活動か。	必須	必須
収支予算の適切さ	適切な収入・経費で予算を立てているか。	必須	必須
財源の獲得	事業に必要な財源について、補助金以外の獲得手段を計画しているか。	加点	必須

## ★参加した先輩や先生からのメッセージ

～先輩から～

- 普段、なかなか交流できない年齢層の方と広く交流できたことは、自分の考え方や世界を広げることにつながり、大変充実した活動でした。
- 本プロジェクトの各グループが一堂に会して活動報告会をした際に、他のグループのさまざまな取り組みや発表の仕方に大いに刺激を受け、自分たちの活動への見直しや新たな意欲につながった。
- 岡山には地域に根ざしたさまざまな企業者の方がおり、地域経済を支えていることを実感した。
- 地域の人たちが活動に協力してくださり、とてもあたたかく活動を見守ってくれた。私自身の生まれ育った地域の人々と密に関わる仕事を通じ、地域の活性化や発展に貢献したいと考えるようになり、就職活動でも中小企業支援をおこなう団体を希望し、無事内定をいただいた。
- 最初から失敗や成功にとらわれず、とにかくたくさんのアイデアや意見を出すことが大切。この地域活動を通じて、企画と実行計画の重要性を学びました。

～先生から～

- フィールドワークや実体験、企業との協働作業により、通常の大学の授業では学べないことが多く深く感謝しています。
- 学生たちが地域に新たなイノベーションを起こそうと同じ目標に向かい切磋琢磨しながら課題解決を行うことで大きな学びと成長、自信、そして掛け替えのない思い出につながっています。
- 地域のために何かしたい、貢献できることはないかと考えている学生は少なくありません。こうした学生の郷土を盛り上げたい、応援したい気持ちを、イノベーションチャレンジ事業への参加が大きく後押ししてくれています。
- プロジェクトに参加することで、より積極的に仲間と行動し、地域の方と関わることで、人として成長している様子がうかがわれます。
- 学生も教員も取り組みは大変ですが、地域や地域の方々につながることでとてもよい機会だと考えています。